



空き家に関する
情報を毎月お届け!

☎暮らしデザイン課
(☎21-1209)

／かけがわ／ 「空き家ノート」

No. 12

「空き家活用モデル事業」採択事業紹介④ Kakegawa Front プロジェクト ～最小限文化健康複合施設が掛川を変える～

中心市街地の空き家となっていた元履物店を、ライブラリーカフェ、ドミトリー、ゲストハウスなどに改修しています。改修後は、身近で小規模な建物に多様な人々が交錯し、居場所を見つけられる「最小限文化健康複合施設」が誕生します。今回、プロジェクト代表の田井さんにインタビューをしました。

空き家活用にインタビュー



この施設はどのような目的で作られるのですか？

このプロジェクトは、空き家の増加や地域の交流拠点不足といった課題を解決するために静岡理工科大学の学生や医療従事者などと始めました。

この施設が、観光客や市民の接点となり、私たちが掛川の案内や魅力を伝えるコンシェルジュの役割を担うことで、地域住民や観光客、学生、医療従事者など多様な人々が集い、健康や文化をテーマにした新しい交流の場を提供します。



プロジェクトチーム 田井代表(写真中央)



具体的にどのような施設ができますか？

1階「ライブラリーカフェ&インフォメーションハブ」

医師や看護師がバリスタとしてコーヒーをいれ、健康相談を受けたり、地元の名物や伝統工芸品などを楽しむことができます。また、ワークショップやミニセミナーイベントも開催予定です。

2階「ドミトリー」

学生やアーティスト、医療関係者などが相部屋で滞在する交流型の住環境を提供します。

3階「ゲストハウス」

掛川城を望む宿泊施設として活用します。また、まち歩きや体験ツアーを組み合わせた宿泊プランを予定しています。



改装中の空き家



学生作製の模型

●空き家の相談は、かけがわランド・バンク TEL. 64-3121 (平日9時～16時)まで